

北薩森林管理署交渉（全国林野関連労働組合北薩森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 平成30年3月13日（火） 16:15～17:15

2 場 所 北薩森林管理署 会議室

3 出席者

北薩森林管理署	前田 三文	署長
同	宮崎 健次	次長
同	深田 孝治	総括事務管理官
全国林野関連労働組合北薩分会	小薄 政弘	委員長
同	中川 秀樹	副委員長
同	野田 誠治	書記長
同	川口 文明	執行委員
同	歌野 昭彦	執行委員
同	田畑 駿也	執行委員

4 交渉事項

- (1) 労働安全の確保について
- (2) 平成30年度の事業量増加に対する具体的対策について
- (3) 要員不足による若手職員への負担増と現場管理機能の低下について
- (4) 職員の勤務条件諸課題について（賃金諸手当・宿舍・健康安全等）

5 議事概要

(1) 労働安全の確保について

組合) 当署において職員災害は発生していないが、今回、請負現場において平成27年に発生した重大災害と同様のつるがらみの災害が発生した。発注者として安全の意識が希薄になっていたのではないかと。職員の労働災害を未然に防止するためにも、災害を出さないとの思いをしっかりと持ち、署全体で安全に取り組んでいただきたい。

当局) 請負事業については、契約時の安全の要請、また作業時の安全パトロールなど実施してきたところである。今回の災害発生を踏まえ、職員を集めて安全勉強会を実施し、安全対策等について周知したところである。今後においても引き続き職員の労働安全確保並びに我が署から災害を出さないとの決意を基に、署をあげてさらに安全対策に努めて参りたい。

(2) 平成30年度の事業量増加に対する具体的対策について

組合) 平成29年度は業務量に対して職員数が不足し、一部の職員へ負担をかけたのではないかと。平成30年度から債務返済の第二分期に入り事業量も増大することが予想されるので、要員の確保をお願いする。また、円滑な事業運営に資するため、早期発注ができるよう署内の調整等、管理者としてリーダーシップを発揮してほしい。

当局) 要員の不足については、空席ポストがあるものの職員の協力をいただきながら業務を進めてきたところ。今後の事業量については、生産量は若干少なくなるが造林事業は増える。生産事業が年内に完了すれば1月以降には造林へ移行できるので、適切に事業の進行管理を行うとともに早期発注に努めて参りたい。

(3) 要員不足による若手職員への負担増と現場管理機能の低下について

組合) 一般職員が森林整備官の仕事を行っており、若手職員への負担が増加している。困難な業務をしても給与は変わらず職務意欲がわからないのではないかと。処遇改善をお願いしたい。

CSを使用できる職員が減少し、台風時の倒木処理等緊急時の対応の遅れなど現場管理機能が低下するのではないかと。使用可能な職員に負担がかからないよう、また、地域の要望に早急に応えられる体制づくりをお願いしたい。

森林官等の現場巡視は重要な仕事であるが、林道が修理されていない箇所は遠回りをするなど非効率となり、また、安全面でも心配される。併用林道の協定等に基づき自治体と協力して整備してほしい。

当局) 一般会計化により任用の時期が変更されたため空席ポストがあり、若手職員に負担をかけていることは承知しているが、職務上位の仕事を行っていることに誇りを持っていただきたい。また、空席ポストの補充については引き続き上局へ要求して参りたい。

倒木については職員で対応できない場合もあり、急を要する場合は委託契約等で実施できないか上局にも相談し検討して参りたい。

併用林道協定や今年度から新たに「地域の安全確保に向けた森林情報の共有及び長期的な森林の育成に関する協定」を自治体と締結しているので、お互いの予算事情もあるが、効率的な整備ができるよう取り組んで参りたい。

(4) 職員の勤務条件諸課題について（賃金諸手当・宿舎・健康安全等）

組合) 宿舎補修要領が改正されたので、改正内容の周知徹底と入退去時のトラブル防止に努めていただきたい。

朝日町宿舎は合併浄化槽であり維持管理費が大きな負担になっている。入居者数に影響しない負担額となるようなシステムの構築をお願いしたい。

長期出張に係る旅費については高額なことから、支給が遅れると生活に影響するのでチェック体制を強化し支給が速やかになされるようお願いする。

非常勤職員の処遇が改善されたが、雇用形態を変えることで職員の業務負担が増加することのないよう必要な予算の確保に努めていただきたい。

リーダーシップを発揮し、職員の安全確保、健康管理、職場の雰囲気作り、特に風通しの良い職場づくりに率先して努めていただきたい。

当局) 宿舎補修要領の改正については周知しているところであるが、入退去時には複数で立ち会う等公平な観点で行いたい。

朝日町宿舎の合併浄化槽の維持管理費については、適正な負担となるよう入居者の確保に努めるとともに、引き続き上局へ相談して参りたい。

旅費請求については、局が作成したチェックシートを活用し速やかに処理できるように努めて参りたい。

非常勤職員の理解を得ながら必要に応じて超過勤務等に対応するなど、職員の負担増とならないようにしたい。

健康安全の管理面でも風通しの良い職場作りは重要と考えている。職員との意思の疎通に努めて、快適な職場作りに引き続き取り組んで参りたい。